

助成者：	箕曲 在弘	助成期間：	2018年4月～2021年3月（3年間）
所 属：	NPO法人APLA理事		

ラオスのコーヒー栽培地域における 農業の多様化促進を通じた生態系保全

【活動場所】 ラオス人民民主共和国

【事業目的】 ラオス南部のボーラヴェーン高原では、換金作物であるコーヒーへの依存度が次第に高まり、従来一般的であった複合生業は「遅れたもの」と認識されると同時に、土壌の肥沃度が減少するなど環境への影響も出てきている。こうしたリスクを緩和するために農業の多様化を促進することを通して、地域の生態系を保全していくことを目的に実施

主な活動内容：①ラオスの若手農家5名を隣国タイのカオデー農園にて研修・ワークショップを実施

- ・ 自然農法や農畜複合の仕組みを実践的に学ぶ
- ・ 研修後、自分の農園において実践



マカデミア農園訪問

②タイの有機農業ネットワークのウボン氏、カオデー農園の農園長デー氏のフォローアップ研修を実施

- ・ 若手農家の住む村落の住民を集め、村全体を巻き込みフォローアップ研修を実施

これらの活動を通して、コーヒー以外の作物を栽培したり、養鶏や加工品を販売するなどして、経済面を満たすことにより、生態系の維持を目指していく



家畜農家訪問

(雛へのワクチン投与)